

会 議 録

(1-3)

会議の名称	令和7年度 第3回 内牧地区地域づくり推進協議会		
開催日時	令和7年12月19日(金)	開 会	午前・午後 1時30分
		閉 会	午前・午後 2時30分
開催場所	内牧市民センター 研修室2		
議長(会長等)氏名	野村 三男		
出席者	委員氏名	(出席人数：10人)	
		磯谷 健治、岩見 奈津枝、杉本 愛実、田中 良司、土橋 理恵	
		中野 眞弓、永瀬 三郎、野村 三男、本田 理沙、森 義久	
	(50音順 敬称略)		
説明者その他	(出席人数：3人)		
	市民生活部長 飯口 信彦、市民生活部参事 矢野 仁史 内牧市民センター所長 新井 道彦		
事務局	(出席人数：2人)		
	内牧市民センター 豊田 亜衣子、赤坂 亮祐		
次第及び公開・一部公開・非公開の区分	1 開会 2 会長あいさつ 3 協議事項 (1) 市民センターを拠点とした地域づくりについて 公開		
一部公開・非公開の場合はその理由	<input type="checkbox"/> 要綱第3条第1号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第2号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第3号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第4号該当：		
配布資料	資料1 市民センターを拠点とした地域づくりについて 資料2 防災の拠点としての市民センター		
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した全文記録		
	<input checked="" type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した要点記録		
	<input type="checkbox"/> 要点記録		
会議録署名の指定	会長による署名		

(2-3)

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
	【開会】
	【会長あいさつ】
	【協議事項】
	(1) 市民センターを拠点とした地域づくりについて
事務局	《資料1・2に基づき説明》
委員	方向性については了承。資料1内牧地区の事業については、自治会加入者が
	中心となり実施している。自治会未加入者が参加していない。どのように
	ここの接点を持つかが地区のコミュニティの問題である。
委員	地域コミュニティを活性化させて行くには自治会が中心になって動くしか
	ない。自治会が中心になって、未加入者も取り込んでどのようにやっていくか。
	置き去りにはできない。
委員	それぞれの町会で地域づくりが行われているので、その現状を把握した上で、
	内牧地区全体の地域づくりにつなげていくには、自治会連合会、各自治会が
	中心になる必要がある。資料1は現状について整理したもので、方策は今後の
	協議となってくると考える。
委員	自治会と市民センターとの連携を緊密にするため、自治会連合会の中で
	各自治会の情報を共有するために、市民センターの一室、あるいは一角でも良い
	ので自治会連合会の事務局を置くことが効果的だと考える。自治会長が立ち寄る
	機会が増えることで情報交換、情報共有、情報の集約につながると考える。
委員	未加入者への情報の伝達方法が難しい。掲示板の無い自治会もある。
委員	自治会の必要性をどのように伝えるかが難しい。難しい問題であるが、
	そういった方達のことも考えながら地区の地域づくりを考えていかなければな
	らない。
委員	自治会自体も若手リーダーが出てこない。押しつけると脱会してしまう。
	どこの自治会でも課題となっている。
委員	小中学校、幼稚園なども含めて、子供達に市民センターの行事などを配付して
	いただけると、共稼ぎ世帯など働いている家庭のほとんどに情報が届くと考え
	る。自治会と学校の二本立てで広く伝わるのではないか。
委員	市民センターも災害時には避難所になる。運営は職員だけでは十分でなく、
	避難者も運営に参加する必要がある。
委員	内牧小学校で毎年度実施している土曜参観「うちまき防災」を来年度は9月に
	実施する。高学年については、保護者、地域の方に入っただき、1・2校時
	に避難所開設訓練を実施したい。体育館において、保護者、地域の方には避難所
	運営訓練を、児童には避難者になって避難所の体験を考えている。3校時に避難
	訓練（地震）地区ごとに教室を分けて、保護者、地域の方との顔合わせも兼ねた
	内容としたい。市民センターにも参加していただき、R9年度は市民センター
	への避難する地区も設定し、両方の避難所を活用した内容も検討できればと考

